

The repository of arts, literature, commerce, manufactures, fashions, and politics (ザ・リポジトリ・オブ・アーツ)

London : R. Ackermann , 1809－1828

Hiler p.745 Colas 2541 Lipper. 4598

repositoryは“宝庫”の意で、本誌も一般には「アッカーマンの宝庫」または「芸術の宝庫」と呼ばれ、19世紀初頭イギリスの最も著名なファッションブックに数えられている。当時のそれは一種の総合婦人雑誌で、タイトルの示すとおり、内容も極めて広範に及んでいる。つまり、小説・戯曲・伝記・詩・流行・製品案内・通信・地誌・博物学……などである。本誌をとりわけ有名にしたのは、通巻900枚に及ぶ他誌を圧する魅惑的筆致の手彩色版画で、技法的には銅版画（ビュラン版とアクアティント版が中心）と石版画に分けられる。主題別にみると、最も多いのがファッションで約半分を占め、他は街頭・建築・室内・風景・乗物・家具・調度・動植物・肖像画などが当てられている。

「アッカーマンの宝庫」は通例3期に大別される。第Ⅰ期は1809年1月号から1815年12月号までの第1－14巻、第Ⅱ期は1816年1月号から1822年12月号までの新第1－14巻、第Ⅲ期は1823年1月号から1828年までの再新第1－12巻の計40巻である。ファッションプレートに関する限り、これらのうちでも末期の1826年以降のものが特に優れている。

このように、本誌の刊行は20年間にすぎないが、この期はヨーロッパ史上でも格別な転機に当たっており、とりわけナポレオンⅠ世（在位1804－1815）にちなむエンパイア様式期の史料として貴重である。発行者のルドルフ・アッカーマンは、1764年、ドイツのザクセン州、シュトールベルクの馬車・馬具師の家に生まれ、のちパリを経てロンドンに定住し、出版人として大きな成功をおさめた。彼が美術印刷に大きく貢献する契機を開いたのは、ドイツ人の銅版画家ハイデロフ（Nikolaus Wilhelm von Heideloff 1761－1837）とのパリでの出会いであった。本誌の名を不朽ならしめた功績の大半も、実はハイデロフに負っている。

（石山 彰）

『文化女子大学図書館蔵 西洋服飾ブック・コレクション』より転載



1巻（1809年） 当時のロンドンのアッカーマンの店